

人権センターだより

電話 82-0076
ファクス 82-0110
s0150@town.nichinan.lg.jp
Vol. 191



日南町同和教育研究集会

12月7日に、同和教育研究集会を開催しました。人権意識調査の結果報告のほか、シンガーソングライターの遊人さんによる講演を行いました。講演では、歌を交えながら、ご自身の体験をもとに語っていただきました。

【遊人さんの講演を聴いて】

日南町同和教育推進協議会

副会長 大柄瑞穂

お話は、不登校になったところのことから始まりました。

小学校3年生の時、学校に行く意味がわからなくなり、以降6年間学校に行かないという選択をされたこと。中学3年生のとき、学校に行かない6年間と行った6年間を経験すると決めて高校受験をし、高校3年間学校に通ったとい

うこと。ご自分の経験をベースに、人と人が支え、支えられることの意味を熱く語られました。

中でも、登校しないと決断された遊人さんの気持ちを、心から受け止めてくださったお父さんお母さんの存在の大きさ。そして、地域の人たちの優しさに触れられ、寄り添ってくれた多くの人たちがいてくださったから今の自分があると断言されました。そして今日ここに、気持ち良く居させてもらえるのも多くのスタッフの皆さんに支えられているからだ。

お話の中で、私の心に残った言葉があります。「どう伝えるかよ、どう接するか。」この言葉



は、胸に迫りました。人と接するとき、人を蹴落とそうとしたり、毛嫌いしようとしたりしている自分なのか、人の良さやすばらしさに気づこうとしている自分なのか。差別やいじめが生まれるのか、敬う気持ちが生まれるのか、人と接する瞬間がまさにそのときだとお話を聞いてそう感じました。

そしてまずは挨拶から、というお話でした。挨拶を交わした後、次にその人とのように接するか。わたしは、この人どう接しているの？というのを問いかけることをはじめたいと思いました。

また、オリジナルの歌詞には、遊人さんの素直な心が表れていて共感しました。最後には、観客の皆さんも演奏に加わり、さつきホール全体がひとつになったと思えるような、楽しい締めくくりとなりました。

この場におられない多くの方々にも、そして若い人たちにも聞いて頂きたい講演会でした。

日南町に住んでいて、私たちはとても平穏に暮らしているように思います。しかし、よく目を凝らしてみると、家族で問題を抱えた

り、一人で誰にも相談できず、人生を悲観していたりする人が周りにいるのではないかと思います。が、いかがでしょうか。

今回の講演会は温かな接し方を実践することで、互いに尊敬し合う関係を作っていけるよう努力したいと心に刻み込まれる内容だったと思いました。

お知らせ

■日時 2月17日(月)

午前9時30分～11時30分

■会場 人権センター

どなたでもご利用いただけますが、事前の申し込みが必要です。人権センターへお問い合わせください。

○2月の人権・行政相談所

■日時 2月14日(金)

午前9時～正午

■会場 子育て支援センター

人権や行政の仕事に関する相談を人権擁護委員・行政相談員が無料でお受けします。予約は不要です。

